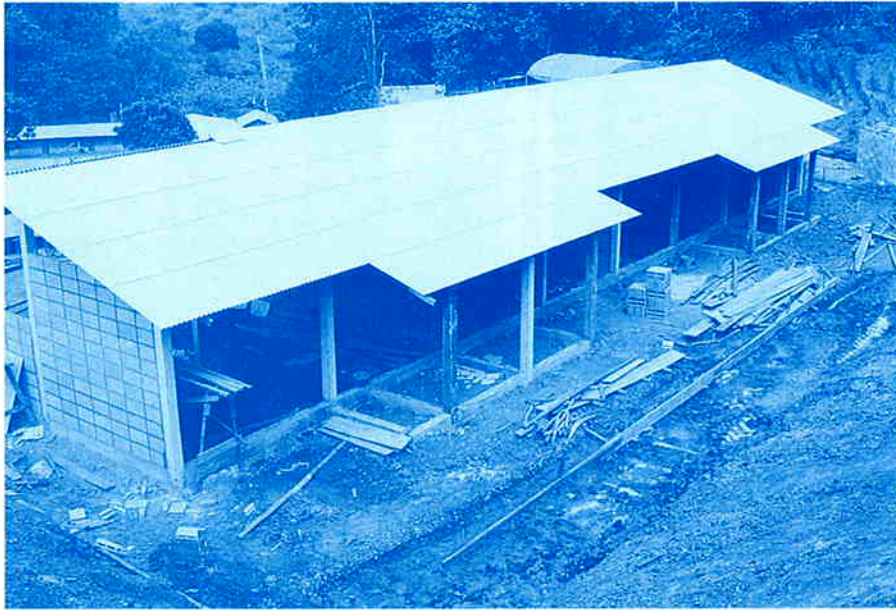


さわどい 埼玉王



▲全体像を現した男子用寄宿舎。この下方に女子用が建設される。

進む工事 完成は一月予定



十一月二四日、寄宿舎建設の進捗状況を調査するため、西條副会長、佐藤ランブーン新電元社長、吉田事務局長、筋野事務局長が現地を訪れました。雨季明けから始まった工事は順調に進んでおり、男子用寄宿舎はほぼ外觀が出来上がり、その下方では女子用寄宿舎の整地が行われていました。現在男子生徒達は、父母が協力して作ったという仮設の宿舎を使用しており、一日も早い完成を待っている様子でした。

なお関係者から基礎工事から現在までの工事の詳細な経緯を記した報告書を受け取りました。



▲学校の敷地は山の斜面にあり、寄宿舎が建つのは後方



◀報告書

寄宿舎完成を待つ



会長
原 宏

国の将来は子供たちの肩にかかっています。古今東西いつの世でも教育の重要性が言われる所以です。しかしタイ東北と都市部との教育格差は、世のグローバル化が進む中でも一向に縮まっていけないのが現実です。そのため、当友好協会は設立当初より教育支援事業を大きな柱に据え、準備を進めてきました。それが、今、寄宿舎二棟建設という現実の姿となって実を結びつつあります。この事業が当友好協会の歴史に誇るべき足跡となることを確信し、胸膨らむ想いで完成の日を待っております。

また「さわどい・埼玉」増刊号で調印式の様子をお知らせいたしました。この事業が、単に寄宿舎二棟の寄付ということにとどまらない成果をあげつつあることも私の大きな喜びです。具体化する過程で得られた人脈、また関係者との相互理解は、当友好協会の大きな財産となるものと思います。この事業に直接関わっていたいただいた役員、関係者のご努力は大変なものとお察しておりますが、こうした実現の背景には会員の皆様の強い支えがあればこそということを肝に銘じております。

完成予定の来年二月には、第四回親善旅行を予定しております。皆様のご参加をお待ちしています。

第六回総会開催 四議案を満場一致で承認



▲原 会長

去る六月三日、さいたま市の浦和東武ホテルで、埼玉・タイ王国友好協会の第六回総会が開かれました。前回は上回る百二十名の出席者があり、提案された四議案全てが満場一致で承認されました。なお第三、第四議案では、教育関連施設として寄宿舎二棟の建設をすることと、その建設費用をこれまで積み立ててきた学校建設資金を含む会費を充て



▲監査報告をする伊藤 監事

ることなどが審議の上承認されました。総会後、副会長の西條正和氏と事務局長の吉田正廣氏から寄宿舎建設の提案に至った経緯が苦労話を交えて報告され、出席者は興味深げに聴いていました。



▲報告する西條副会長

その後、続いて行われた懇親会には、来賓としてタイ大使館よりパンヤラク・プリン・ダムロンストーン・チャイ一等書記官ら三名と山口泰明衆議院議員、土屋品子衆議院議員代理の藤生賢哉氏が出席されました。

懇親会で歓談する出席者の皆さん



▲原会長と来賓の皆さん



大使主催昼食会に 会長等八名が出席

カシット・ピロムタイ王国駐日大使が任期を終え、七月日本を離れました。これに先立ち、当友好協会に同大使主催の昼食会への招待があり、七月二日、土屋義彦名誉会長、原会長、西條副会長、河嶋、笠井、前島各幹事、伊藤監事、吉田事務局長ら八名が出席しました。



▲向かって左よりカシット・ピロム大使、土屋名誉会長、原会長

カシット・ピロム駐日大使は、平成十三年十二月に第十七代大使として着任し、日、タイの経済連携の取り組みや様々なレベルでタイと日本の交流を深めることに力を注ぎました。当友好協会とは第四、第五回の総会への出席を初め、タイ大使館が日本で行う様々な催し、タイ・フードフェスティバル、大使館庭で行うタイの伝統行事のみずか



▲出席者の皆さん

けまつりなどを通じて連携を強めてきました。また平成十四年秋にはご子息と川越まつりに、昨年夏には入間市の松田産業を訪れるなど埼玉県にも何度も足を運んでいただきました。

なお、カシット・ピロム氏の後任となるスウィット・シャクン新大使は、五五歳、チュロンコーン大学で国際関係学を学び、卒業後外務省に入り、00年ラオス大使、03年カナダ大使を経て、本年八月駐日大使として着任しました。趣味は読書、家族は奥様と一男とのことであります。



▲スウィット・シャクン新大使

タイの一村一品運動 東京国際フォーラムで

タイ国産品展示会開催



タイの手工芸品を紹介する「タイ国産品展示会2004」が八月四日から七日まで、東京国際フォーラムで開催されました。当友好協会からも原会長、吉田事務局長が見学に訪れました。

展示品はタイの一村一品運動によるもので、今回はタイ北部、主にチェンマイの手工芸品で、チーク材製の家具、シルク、綿製品、銀製品、台所用品など二三社、五千点以上の多彩、多岐に渡るものでした。

タイの一村一品運動は、三年前、タク



シン・シ
ナワット
首相が、
大分県で
の一村一
品運動の

成功に触発されて始められました。二年前にはアユタヤ県の一
行がこの一村一品運動による特
産品のPRに来日し、埼玉県と
パイオニア株式会社を訪れた際
には当友好協会も協力しました。
(本誌七号で紹介)



「サイアムの調べ」 タイの多様な音楽を紹介



去る7月31日、日比谷公会堂でタイ王国大使館主催のチャリティコンサート「サイアムの調べ」が開かれ当友好協会の吉田事務局長が出席しました。これはシリキット王妃陛下の誕生日記念行事として行われたもので、マイタイグループの演奏で、タイの現代の様々なジャンルの音楽が紹介されました。

そのためプログラムはタイ音楽を新たに編曲したもの、現代のタイ音楽、過去数十年のポップスなどで構成されており、日頃聴くタイ民族音楽とは趣が違っていたようになっていました。会場には秋篠宮ご夫妻の姿もあり公会堂に流れるタイの現代音楽に耳を傾けていらっやいました。



▶来場した秋篠宮殿下

今年で五回を数えるまでになった代々木公園でのタイフードフェスティバル。五月連休明け



▲大使館員と当友好協会関係者

食を楽しんでいました。



今年も大盛況 タイフード フェスティバル

週末の恒例イベントとしてすっかり定着したようで、今年も大勢の人で賑いました。特に百貨店を越すタイ料理レストランが出店する屋台周辺は、長い行列で埋まり、歩けないほどの盛況ぶりでした。

当友好協会は後援団体に名を連ねており、原会長等は大使館員の方々の出迎えを受け、野外ステージでのタイ舞踊や音楽を鑑賞したり、目の前で作るタイ料理の試食を楽しんでいました。

ダルニー奨学金 本年度の新規授与者

- 
 ウィナイ・
ナトンカム 十三歳
- 
 ポンスリ・
セパンラム 十三歳
- 
 クナチップ・
ウオラサーン 十三歳
- 
 ラタナポーン・
サンノラード 十三歳
- 
 ポーンナパ・
ポルヤレッド 十四歳
- 
 パニカ・
ヌージャン 十三歳
- 
 ヌチャナート・
インタラスリ 十三歳
- 
 ニバポーン・
パンデー 十三歳
- 
 シリポーン・
カンシヌアン 十三歳
- 
 サユムプ・
ブリーノーク 十三歳

タイにアクセス

会員 VOICE

誤解を解く 地道な活動を 入間市 山田尚志さん



私とタイとの付き合いは、仕事で92年にバンコクに赴任したのが始まりです。丁度クーデター直後で、タイは怖い所と思って行ったのですが、実際は親しみやすく、日本人に近い性格と知って大変驚いたことが今でも鮮明に記憶に残っています。2年後チェンマイに移って、その感はさらに強くなりましたね。素朴で、人柄も良く頭もいい人達だなあ…。98年に帰国しましたが、その後もタイ関連の仕事に就き年2回程度はタイに行っていました。

この6月に定年を迎えましたが、タイとの縁を切りたくないの思いからこの会に入りました。海外に対して誤解を持つ日本人も多いので、いいところはきちっと見て、誤解を解いていく必要があると思います。そのためにもこの会の活動をもっともっと広げていく必要があると感じます。

第3回 みずかけまつり開催



8月28、29日、さいたま新都心けやきひろばで、「みずかけまつり&アジアフェスタ」が開催されました。中島事務局員が見学に訪れましたが、両日ともあいにくの悪天候となってしまう、例年子供達のはしゃぎ声が響くみずかけまつりの広場は閑散としていました、そのため屋内で練り上げられたムエタイショーや野菜のカービング、民族衣装試着などのコーナーに人気が集まっていました。



タイ料理に挑戦しませんか — タイ料理レシピ満載のDVD —

タイ大使館紹介のタイ料理レシピDVDを6月の総会時に販売しましたが、まだ残りがありますので、タイ料理に挑戦したいと思っている方はぜひお買い求めください。調理方法は、思っているほど難しくないそうです。



内容は

- ・夕食のおもてなし料理6品
- ・お休みの日の昼ご飯4品
- ・一品料理とすぐできる料理3品
- ・おやつとおつまみ4品

の17品目が紹介されています。

価格は、2500円、事務局まで(049-247-5428 中島)ご連絡ください。

タイアラルカト

VOL.11

タイの山岳民族

タイには象の調教で知られるカレン族、首長族で有名なパドゥン族、他にもアカ族、ラブ族、モン族などの少数山岳民族が住んでおり、それぞれが独自の文化、言語、信仰を持って暮らしています。その多くがかつては収入源をけしの栽培に頼っていましたが、現在は野菜や果物の栽培、手工芸品などで暮らしを立てています。



当友好協会が寄宿舎を建設しているのはリス族の村で、銀の装飾品をつけた女性の正装が大変美しいことで有名です。父系制で漢族の影響が強く、新年の祭りも中国の正月に合わせて行われます。またタイ人や他の山岳民族と違い、土間式の住居に住み、タイ語とは全く異なる言語シノーチベット語を持っています。

会員募集中

埼玉・タイ王国友好協会では、多くの県民の皆様様にタイ王国を理解していただき、友好活動を積極的に進めていくために会員を募集しています。

年会費 法人会員 2万円
個人会員 2千円

申し込み 埼玉・タイ王国友好協会事務局
問い合わせ TEL:049-247-5428 FAX:049-246-2118

(武州ガス(株)内)

タイ事務局連絡先

バンコクのUIエレクトロニクス
タイランド内
662-712-7290

編集後記

● 国道1095線からリス族の学校までの18kmの山道が未舗装であるが、今回整備されていたのにビックリ：ここでも寄宿舎建設効果が出ていた？ (Y)

● 成田からチェンマイへのタイ航空の直行便を初めて利用。往きは良かったが帰りはチェンマイからバンコク航空で成田まで10時間30分程。帰りも直行便があれば!! (S)